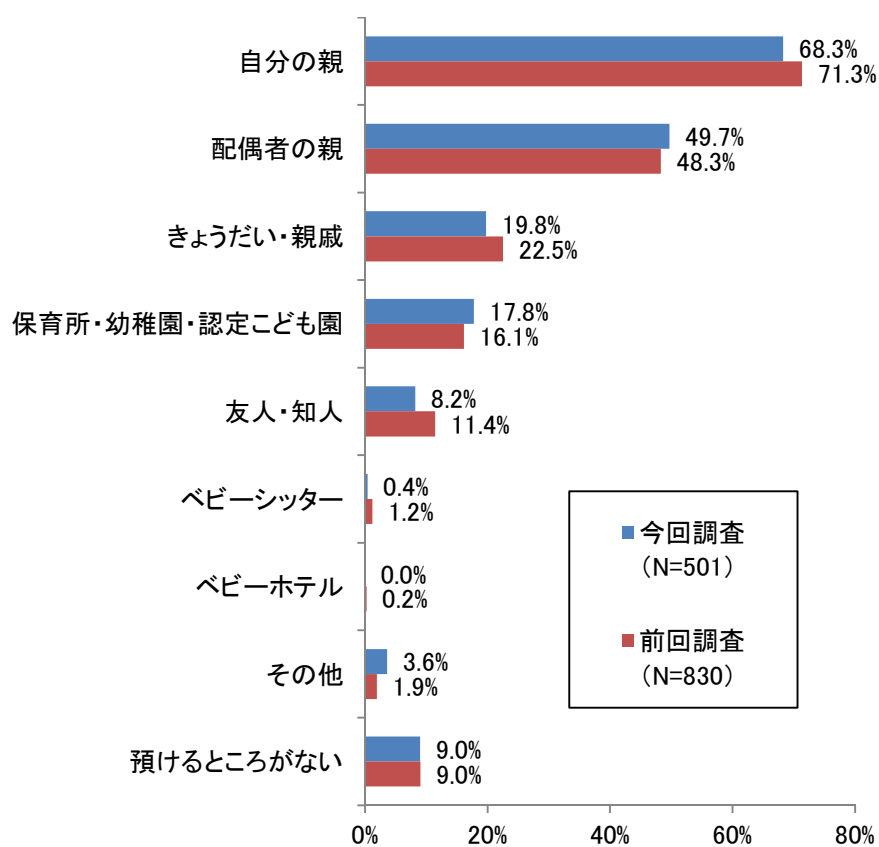


4 その他

○急用時に子どもを預ける場所			
1位	自分の親	…	68.3%
2位	配偶者の親	…	49.7%
3位	きょうだい・親戚	…	19.8%

急な用事が入った場合に子どもを預ける場所については、「自分の親」(68.3%)の割合が最も高く、次いで「配偶者の親」(49.7%)となっています。前回調査時よりは、「認定こども園・幼稚園・保育所」の利用率がやや上昇しています。



○子育て環境の整備について行政に望むこと

1位	出産費用の援助や児童手当、扶養控除の増額など 子育てのための経済的支援の拡充	…	50.9%
2位	認定こども園・幼稚園・保育所などの費用負担の軽減	…	44.4%
3位	育児のための時間短縮・フレックスタイムなど 勤務時間の柔軟化	…	23.4%

子育て環境の整備について、行政に求める施策については、「出産費用の援助や児童手当、扶養控除の増額など子育てのための経済的支援の拡充」(50.9%)の割合が最も高く、次いで「保育所・幼稚園・認定こども園などの費用負担の軽減」(44.4%)となっています。

前回調査と比較すると、子育てに係る経済的負担の支援が依然として高い中、勤務時間の柔軟化や育児休業制度の充実等の仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に係る施策への要望が高まっています。

